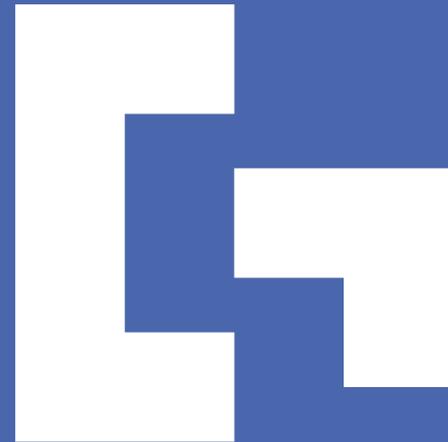


GTIE GAPファンド2024 エントリーコース説明会

2024年10月



Greater
Tokyo
Innovation
Ecosystem

大学発新産業創出基金事業

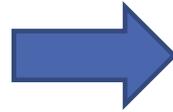
- 988億円
- 事業実施期間：令和4年度～（原則5年間）
- 大学発スタートアップ創出を支援するギャップファンドプログラムの新設
- 拠点都市や地域の中核大学等の技術シーズに対して、海外の専門家等からのメンタリングなどとセットで国際市場への展開可能性を検証するギャップファンドプログラムを創設し、国際市場への展開を目指すスタートアップ等の創出に取り組む



大学発新産業創出基金事業の基本方針（概要）

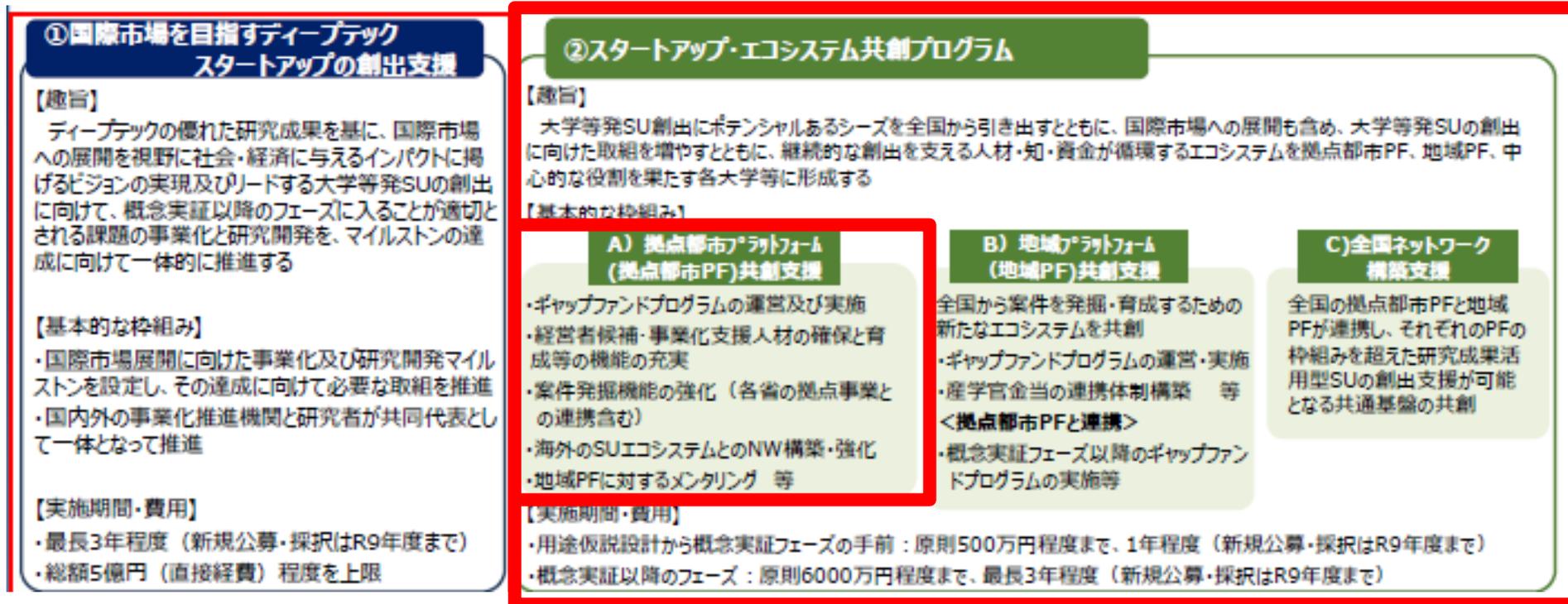
目標

1. 社会・経済にインパクトを生み、国際展開を含め事業成長するポテンシャルを有する大学等発SUの創出を質・量ともに充実
2. 大学等発SUの継続的な創出を支える、人材・知・資金が循環するエコシステムの仕組みを全国に形成



インパクト

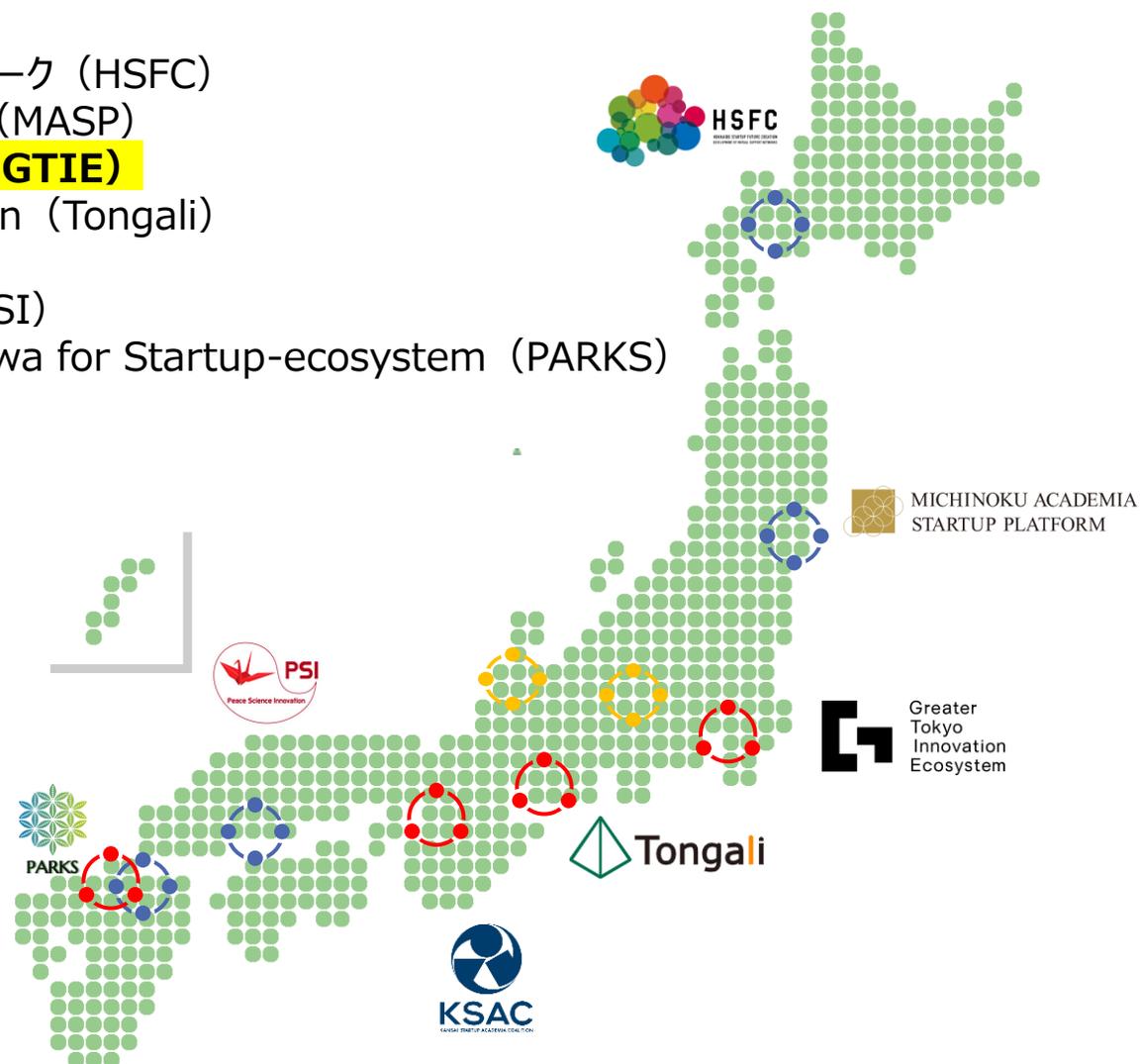
- 革新的な製品・サービスによる社会課題の解決及び豊かな国際社会の実現
- 事業成長による我が国の雇用創出及び経済成長の実現
- 成功事例を積み重ね、より多くの人材が大学等発SUの創出・育成を志す
- 大学等においてステークホルダーと連携を図り学内のルールや体制を整備



スタートアップ・エコシステム拠点都市とプラットフォーム

- 北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク (HSFC)
- みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム (MASP)
- **Greater Tokyo Innovation Ecosystem (GTIE)**
- Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)
- 関西スタートアップアカデミアコアリション (KSAC)
- Peace & Science Innovation Ecosystem (PSI)
- Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem (PARKS)
- Tech Startup HOKURIKU (TeSH)
- Inland Japan Innovation Ecosystem (IJIE)

-  グローバル拠点都市
-  推進拠点都市
-  中核市



GTIE参画機関



主幹機関



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



早稲田大学



Institute of
SCIENCE TOKYO

SU創出共同機関



筑波大学
University of Tsukuba



千葉大学
CHIBA UNIVERSITY



国立大学法人
東京農工大学



公立大学法人
神奈川県立保健福祉大学
Kanagawa University of Human Services



横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY



慶應義塾大学



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学



芝浦工業大学
SHIBUWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE



茨城大学
Ibaraki University



電気通信大学
The University of Electro-Communications



東海大学



理化学研究所



YNU
横浜国立大学

共同機関



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

協力機関 (幹事自治体)



東京都



OPEN
YOKOHAMA



川崎市
KAWASAKI CITY



TSUKUBA



茨城県



渋谷区
Shibuya City



LINK-J



cic tokyo



SHIBUYA
QWS

125に及ぶ自治体、大学、民間機関等に協力機関としてご参画いただいています（2024年4月末時点）

(1) スタートアップ創出プログラムの構築・運営

GTIE GAPファンド

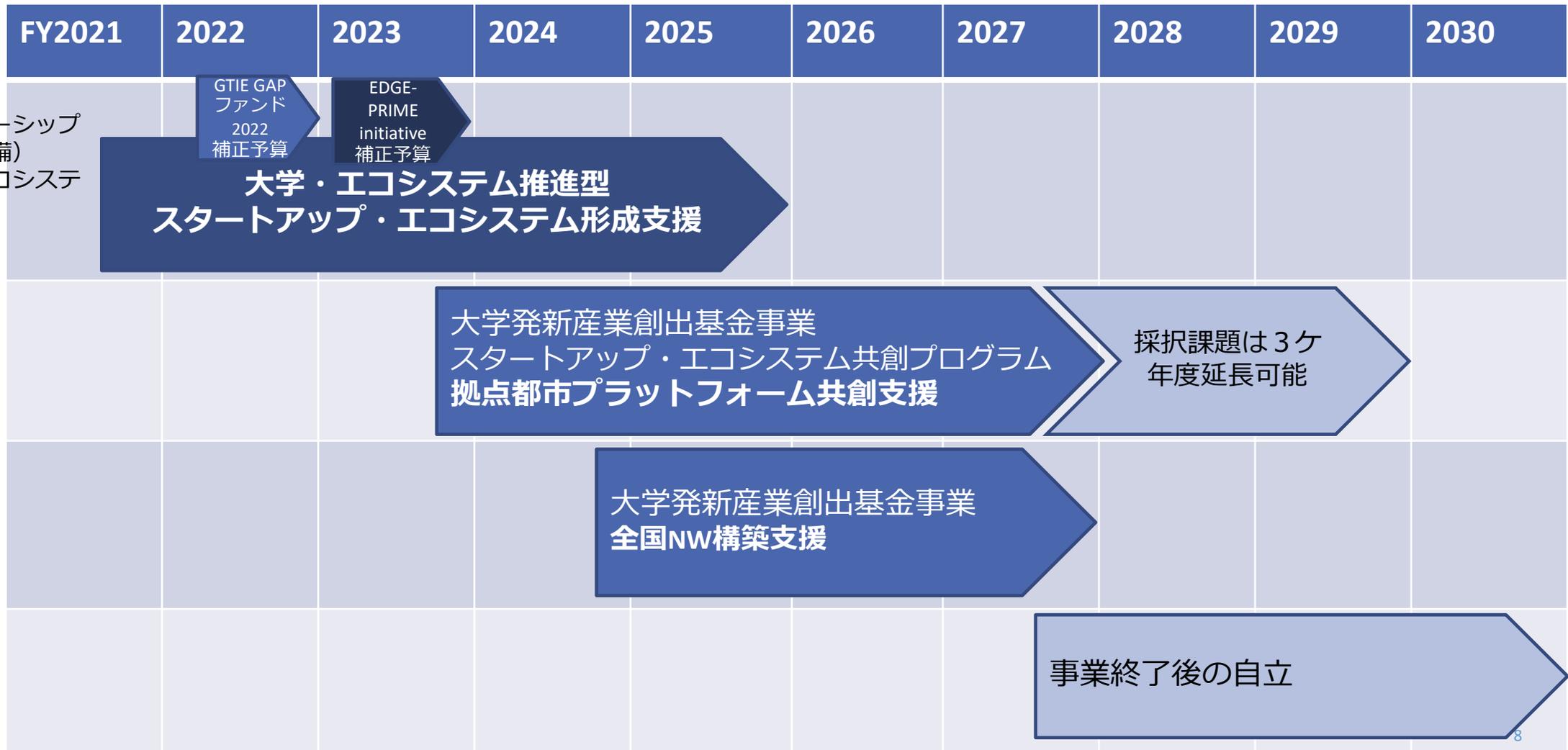
- 大学等発 SU 創出にポテンシャルがある**シーズを発掘**
- 大学等発 SU の創出に向け、研究成果と事業化の間のギャップを埋めるため、案件発掘の段階から事業化に向けて達成すべき**事業開発・研究開発マイルストーンを設定**
- 研究開発課題のビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品製作、仮説検証のためのデータ取得（実験結果、計算結果等）、潜在顧客のヒアリング等を実施
- **学内外の起業支援人材**のほか、**事業化推進機関や経営者候補人材等と共同し**、集中的・一体的に事業開発・研究開発を進める

(2) スタートアップ・エコシステムの構築に向けた環境整備

人材・知・資金の好循環により継続的に大学等発 su を創出する
スタートアップ・エコシステムの構築

- 起業に携わる人材がプラットフォーム内で育成・活躍できる環境、事業成長するスタートアップが創出しやすい環境
- 成長したスタートアップからの資金が大学・PF に還流し、更なる投資につながる環境等の整備
- 参画機関を拡充しながら進めます。
- 拠点都市 PF については、スタートアップ・エコシステムの国際化に向けた取り組みを必須とします。

全国NWの構築へ



GTIEの取り組み

2021年11月～

2024年2月～

大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援

- ① 起業活動支援プログラムの運営
- ② アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等
- ③ 起業環境の整備
- ④ 拠点都市のエコシステムの形成・発展

大学発新産業創出基金事業
スタートアップ・エコシステム共創プログラム

- (1) スタートアップ創出プログラムの構築・運営
- (2) スタートアップ・エコシステムの構築に向けた環境整備

アントレプレナーシップ人材育成

起業支援（GAPファンド）

起業支援人材育成

GTIEが目指す姿（本プログラム終了時（27年度末）まで）

ビジョン「世界を変える大学発スタートアップを育てる」

- (1) スタートアップ創出プログラムの構築・運営
- (2) スタートアップ・エコシステムの構築に向けた環境整備



マッチング・チーム形成支援
GTIE内外複数機関から
構成されるチーム



GAPファンドの提供
民間資金活用
伴走支援、Demo Day



トレーニングプログラム
研修等のプログラム提供



シード出資獲得支援

グローバル連携支援
海外投資家／アクセラレータ

大企業等との連携支援
テクノロジー・ショーケースとしての機会創出
企業・自治体との連携によるカスタマーデベ
ロップメント

GTIEコミュニティの形成 (2)
GTIEの活動拠点・場の共有 (2)



THE BABSON COLLABORATIVE

JICA/JETRO/
Stanford/UC
SD/UCB

本GAPファンドプログラムの対象

- 本プログラムでは、大学等発の技術シーズを核にして事業化を目指す研究開発課題の中で、概念実証以降のステップに入ることが適切と判断される課題が対象となります。概念実証のステップに入れるかの目安は以下のとおりです。各基準については選考の観点にも含まれており、それぞれの点について審査にて状況を確認させていただくことがあります。

【総合的な基準】

ビジネスとしての可能性が評価できる

【個別の基準】

○事業開発

- － 勝負するマーケット規模の予測が立てられている
- － 将来マーケットにおける顧客イメージと商品／サービスの競争優位性がロジカルにつながっている

○技術開発

- － 用途仮説に基づき必要な性能の検証が行われている
- － 原則、基本特許を有している
- － 事業の中核となる特許群の出願計画がある（競争優位性を確保する計画がある）

○体制整備

- － 事業開発を推進する責任者が存在する

対象となる課題

□ 技術革新型

大学の革新的技術シーズを基にグローバル市場を目指す大学等発スタートアップ創出を目指す研究開発

※研究による技術シーズをベースにした研究課題はこちらを選択してください。

□ 社会課題型

SDGsの達成にも資する社会的インパクトの高い大学等発スタートアップ創出等により成果の社会還元を目指す研究開発

■ **応用研究以降のステップ**に入ることが適切と判断される課題

■ **基礎研究（特定の用途を直接に考慮することのない純粋科学的な研究）** 段階の課題や起業するまでに相当の年数と資金を要する課題については、**本事業の支援対象として想定しておりません。**

実施内容

- **課題終了時の達成目標や中間指標となるマイルストーンを設定**
- **これら達成目標及びマイルストンの達成に向けて研究成果と事業化の間のギャップを埋めるために必要な活動**（例：ユーザー及び用途の設定、試作品開発、ビジネスモデルのブラッシュアップ、仮説検証のためのデータ取得、潜在顧客へのヒアリング、技術実証の実施、展開先として想定する一定の地域や国を対象とした市場・規制・競合技術の調査、知財戦略に基づいた特許の取得等）を実施
- **設定する達成目標やマイルストンの達成に寄与しない研究活動等は本公募プログラムの支援対象外**

応募時点の到達目標例（エントリー）

【事業開発】

- 対象とする技術シーズの用途仮説が立てられている
- STEP2（エクスプロールコース、海外市場開拓実践コース）以降のマイルストーンも想定できている

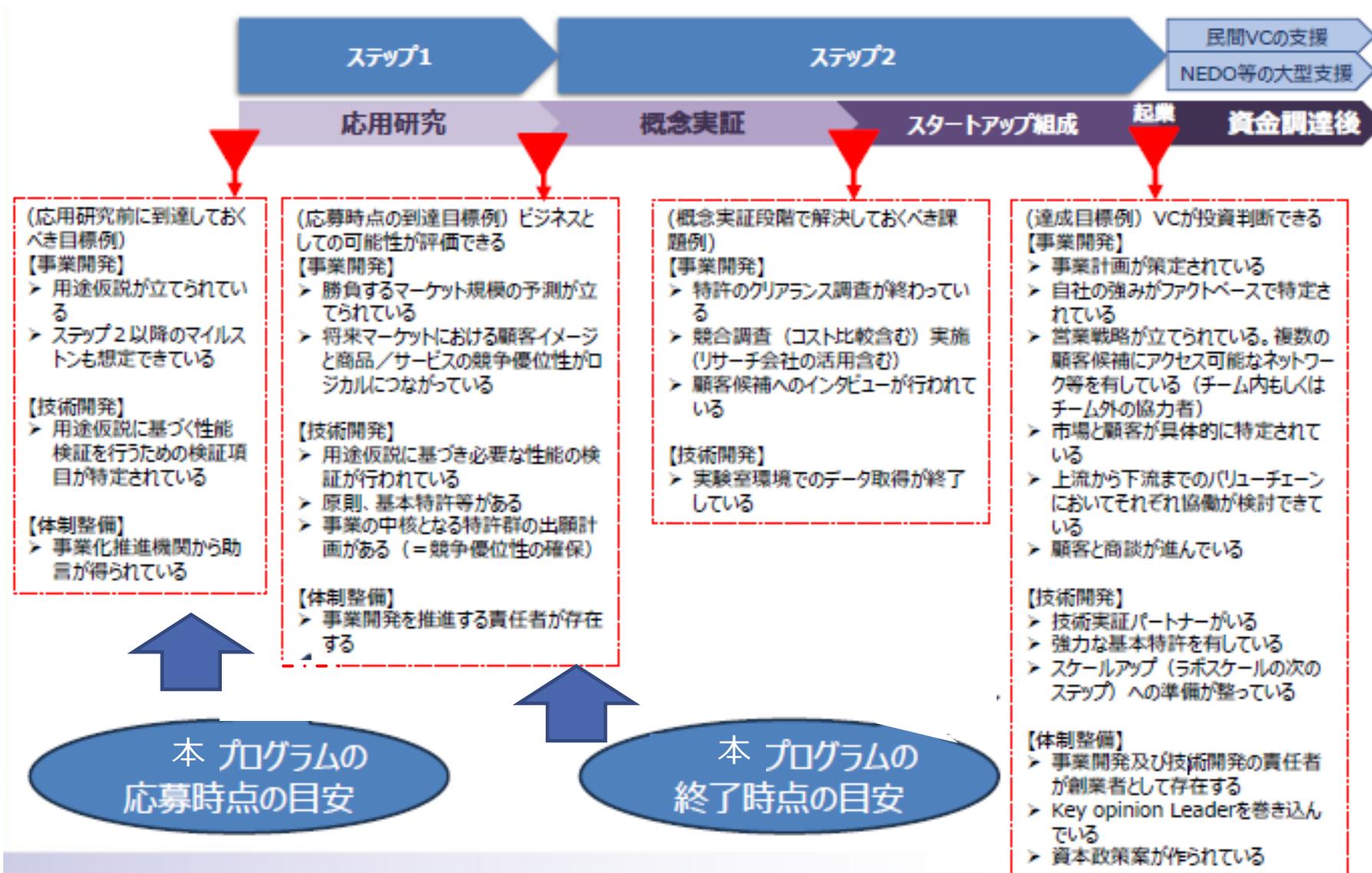
【技術開発】

- 用途仮説に基づく性能検証を行うための検証項目が特定されている

【体制整備】

- 所属する大学等の機関内の産学連携部門内において起業支援を行う部署からの支援を得られている

達成目標およびマイルストンの設定について



スタートアップ創出プログラム（GAPファンド）の基本構造

PFにおける設計：各ステップの設計要件を踏まえ、支援機関・金額の範囲内において、PFの実情に合わせて最適な仕組みを設計

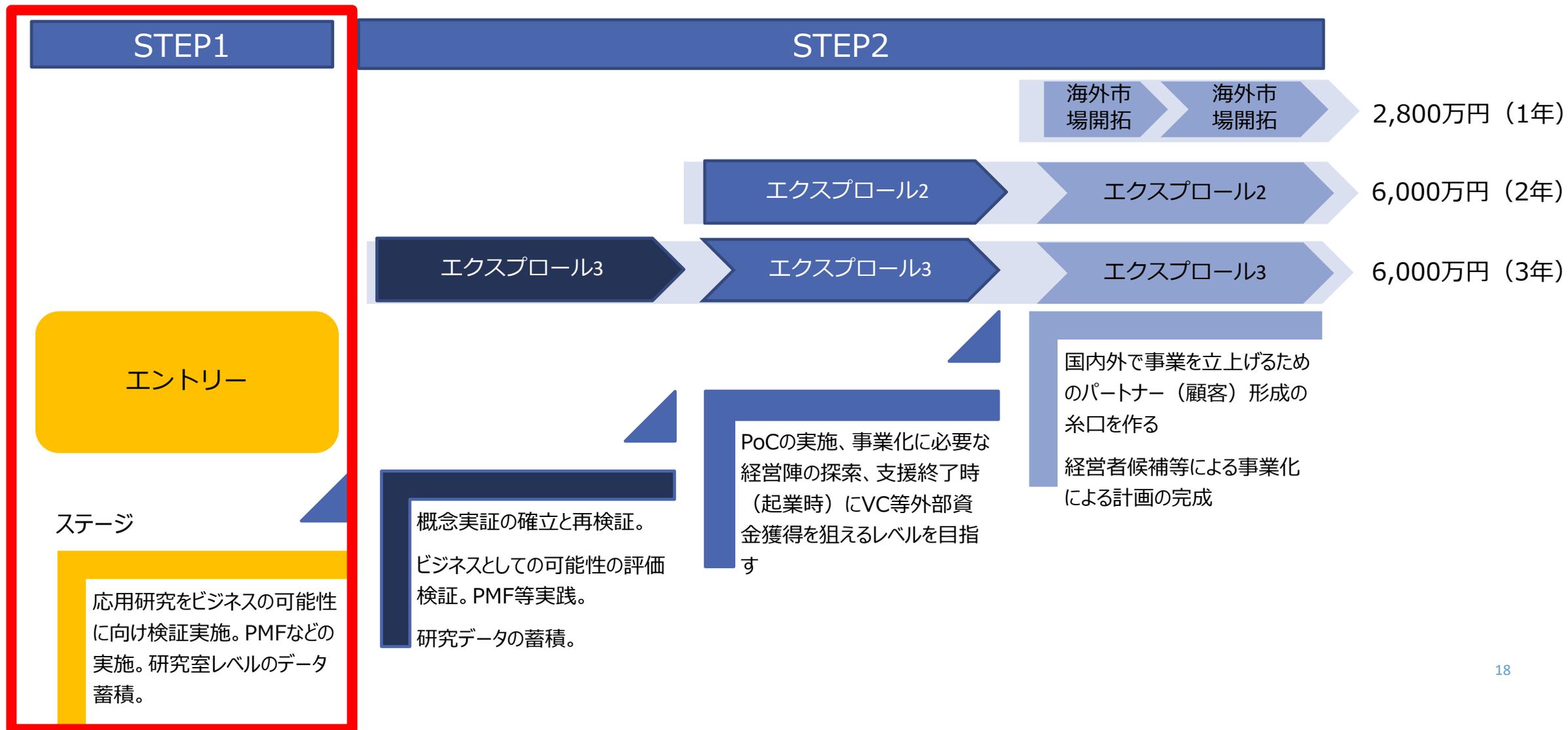
活動内容：各ステップに応じた**終了時点の目標を設定**

| | ステップ1 応用研究 | ステップ2 概念実証・スタートアップ組成 | | | | |
|---|--|---|------|-----------|---|--|
| 対象 | 基礎研究の成果について、 ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げる | <table border="1"> <thead> <tr> <th>概念実証</th> <th>スタートアップ組成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前半ではビジネスとしての可能性の評価と実証（PoC）を行い、起業にあたってクリアすべき課題の解決を目指す</td> <td>後半ではこれら取組に加え、大学等発SUの組成とVCが投資判断できるレベルに向けて、PoCを継続して実施</td> </tr> </tbody> </table> | 概念実証 | スタートアップ組成 | 前半では ビジネスとしての可能性の評価と実証（PoC） を行い、起業にあたってクリアすべき課題の解決を目指す | 後半ではこれら取組に加え、 大学等発SUの組成とVCが投資判断できるレベル に向けて、PoCを継続して実施 |
| 概念実証 | スタートアップ組成 | | | | | |
| 前半では ビジネスとしての可能性の評価と実証（PoC） を行い、起業にあたってクリアすべき課題の解決を目指す | 後半ではこれら取組に加え、 大学等発SUの組成とVCが投資判断できるレベル に向けて、PoCを継続して実施 | | | | | |
| 支援期間上限 | 1年 | 3年程度 | | | | |
| 支援金額上限 (支援期間総額・直接経費) | 原則 500万円 (特別枠 1,000万円) | 原則 6,000万円 (特別枠 1億円) | | | | |

スタートアップ創出プログラム（GAPファンド）の内容

| | ステップ1 | ステップ2 | |
|---------|--|--|-----------|
| | 応用研究 | 概念実証 | スタートアップ組成 |
| 申請者 | 研究代表者 | 研究代表者 + 事業化推進機関 | |
| 推進体制 | PFの起業家支援人材（学内人材を想定）の伴走支援 を得つつ、事業化推進機構等に適時相談しながら推進 | 事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもと で、一体的推進体制を構築して提案 | |
| 実施内容 | 達成目標、マイルストーンを設定して活動 ※ 研究代表者等主体で想定顧客候補等に対するヒアリングを実施 | 事業化推進機関のプロジェクトマネジメントのもと でマイルストーンの達成に向けた活動を実施 | |
| 進捗管理・評価 | 終了時に達成目標、マイルストーンの達成状況等を評価 | マイルストーン達成状況を、1年ごとに評価（ 支援額の増減、中止も可 ） 終了時にマイルストーンの達成状況等を評価 | |

GTIE SU創出プログラム GAPファンド（1）



GTIE GAPファンド募集概要

| | 期間 | 総額（上限） | 採択件数（予定） |
|-------------|--------|--------------------------------|----------|
| 海外市場実践 | 1年程度 | 2,800万円 | 最大4件 |
| エクスプロール（2年） | 2年程度 | 6,000万円（3,000 + 3,000） | 4件程度 |
| エクスプロール（3年） | 3年程度 | 6,000万円（1,500 + 1,500 + 3,000） | 9件程度 |
| エントリー | 8カ月、予定 | 500万円未満 | 10件程度- |

GTIEGAPファンド2024 エントリー

- 申請書締切 2024年11月11日（月）正午
- 書面審査 2024年11月中旬（予定）
- 面接審査 2024年11月下旬（予定; 対面もしくはオンライン）
- 結果通知 2024年12月中（予定）
（JSTへ研究計画書提出）
（JSTによる承認は同機関への書面提出から1～1.5か月後が目処です）
- 研究開始 2025年1月（予定）

応募から採択までの流れ

所属機関担当部署へ
コンタクト

研究代表者が所属する機関内のGTIE担当部署に連絡の上、担当者を決定

応募

研究代表者が申請書を作成して申請

審査
(書面・面接)

面接には研究代表者が出席し、研究開発、事業化の計画を説明

GTIE採択

採択・不採択ともに連絡

JSTの承認

JSTへ研究計画書を提出

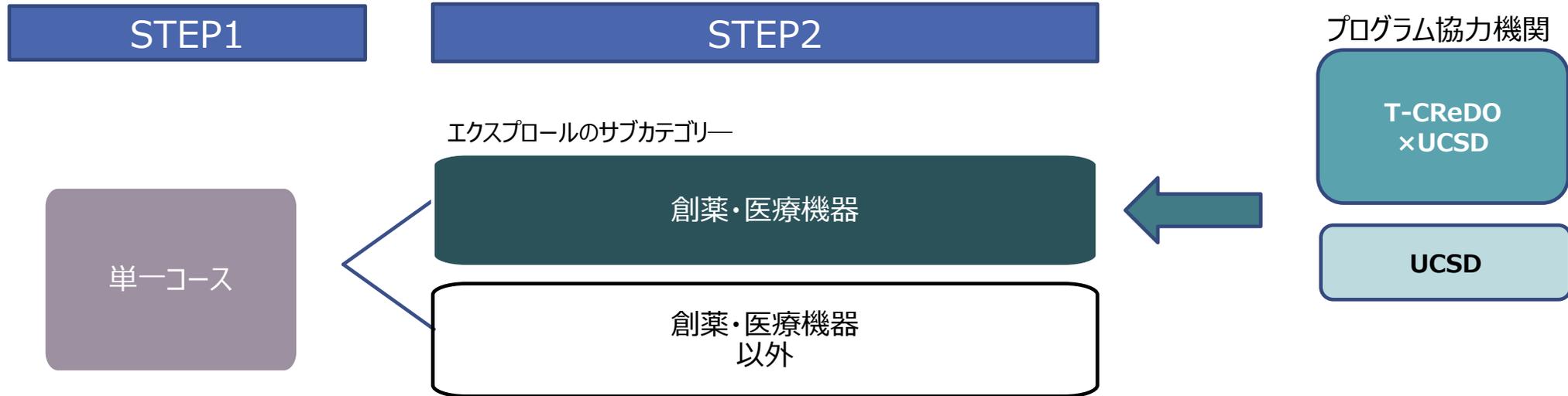
契約締結
(所属機関-JST)

研究代表者の所属機関とJSTの間で委託研究契約を締結

課題開始

事業化に向けた事業開発及び研究開発を実施

GTIE SU創出プログラム GAPファンド（2）研修プログラムなど

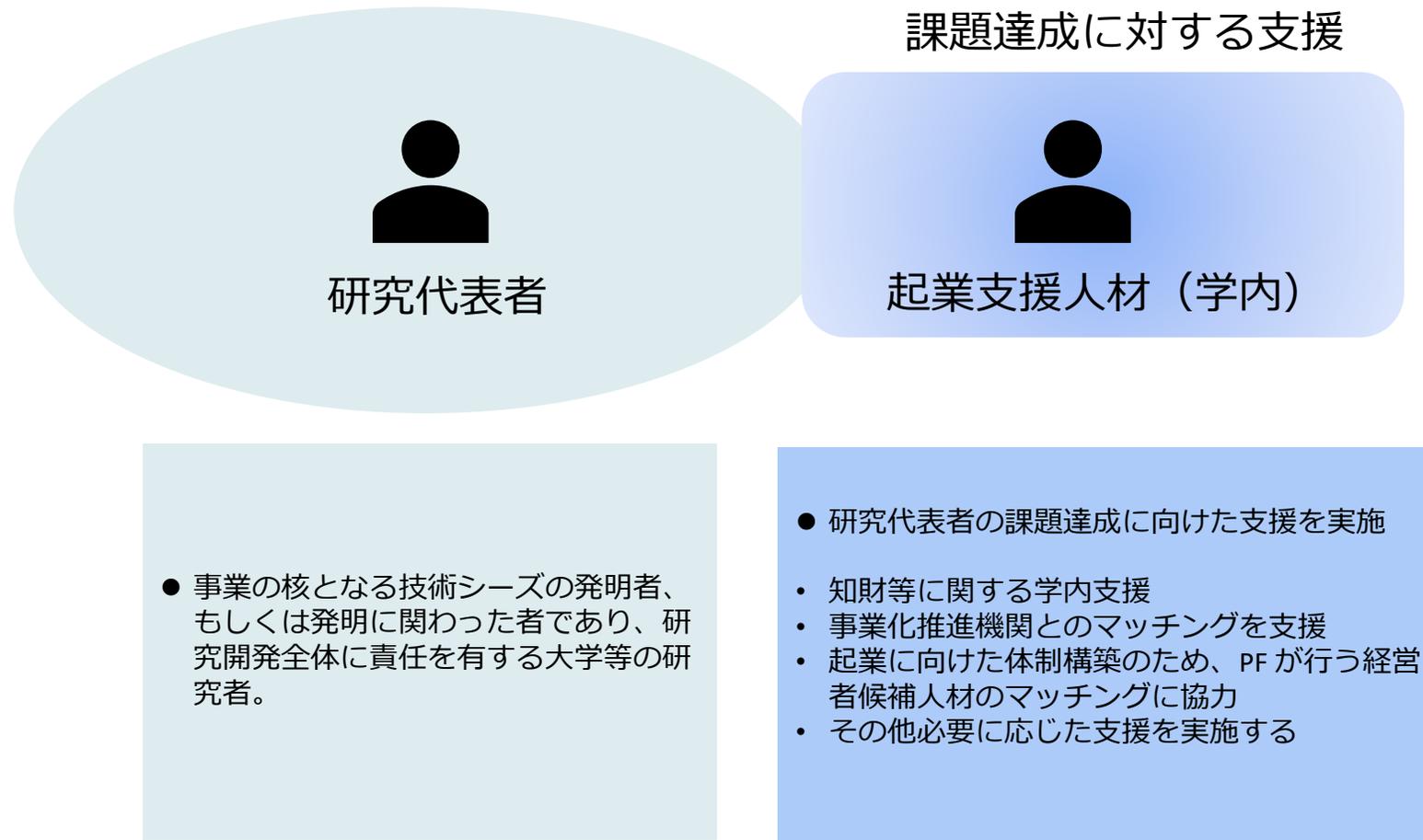


**エントリーコースでは
採択者の様態に合わせ各種研修を提供（参加必須）**

エクスプロールコース（2年/3年）では
創薬・医療機器シーズを対象にAMED、JETRO等のプログラムでスタートアップ支援実績を有するT-CReDOが専門性の高い人材等を紹介。UCSDでの研修を含む。
各種研修の機会を提供（選択制。一部必須）

海外市場開拓実践コースでは顧客開拓のため、UCSDが仲介するメンターが主として採択者を支援する

GAPファンドプログラム（エントリー）の推進体制



(ご参考) GAPファンドプログラム (エクスプロー) の推進体制

事業開発に対する支援



事業化推進機関



研究代表者



経営者候補

- 技術シーズの事業開発に責任を有する
- 課題全体のマネジメント通じて課題をリード
- 市場の環境分析等を通じて事業化計画を立案
- 民間からの投資獲得に向けた事業開発の実施
- 経営者候補人材の選定・確保・育成
- 起業に向けた体制構築のため、PFが行う経営者候補人材のマッチングに協力
- 必要に応じ、自ら経営者候補人材の選定・推薦の実施や、研究開発課題への参加を通じた経営者候補人材の育成

- 事業の核となる技術シーズの発明者、もしくは発明に関わった者であり、研究開発全体に責任を有する大学等の研究者。

● 経営者候補

- 経営構想を立案・実行
- 事業化推進機関とともに事業開発を実施

応募要件

- 応募にあたっては以下の要件をすべて満たしていることが必要。

研究代表者の要件

1. 応募時点において、申請の核となる技術シーズの発明者である、もしくは発明に関わった者であること（応募にあたっては当該技術シーズに関する特許を取得していることが望ましいが、特許出願中や特許を出願予定であるもの、また必ずしも特許出願を行わない技術シーズ（ソフトウェア等）に基づく応募も可能）。
2. 申請の核となる技術シーズを利用したスタートアップの設立等により、大学等の研究成果の社会還元等を目指していること。
3. 研究代表者は、以下に示すGTIEの主幹機関およびスタートアップ創出共同機関（東京科学大学、千葉大学、東京農工大学、横浜市立大学、神奈川県立保健福祉大学、慶應義塾大学、東京都立大学、芝浦工業大学、東京理科大学、茨城大学、電気通信大学、東海大学、理化学研究所、横浜国立大学）に所属する研究者であること。

応募要件（知財・特許）

申請の核となる技術シーズについては、本募集プログラムを通じて創出されるスタートアップでの事業化に関して、その技術シーズの発明者、技術シーズが所属する機関等（特許出願人等）の同意が得られていること。

※知的財産に関わる機関の同意等について、大学等の知財担当者に確認いただき、提案時に研究機関として「知的財産確認書」を提出いただきます。また、大学等がその技術シーズの権利を有していない場合も提出してください。

重複実施制限

研究者は以下の重複実施制限があります

- 同一の研究代表者は**次ページ**のうち2つ以上のファンドを同時に実施不可
- 最終年度を除き、1つのファンドを実施しながらもう1つのファンドへの申請不可
- 複数のファンドに申請した場合はいずれかのファンドの採択が決定した段階で、採択が決定したファンドを実施して申請中のファンドを辞退するか、申請中のファンドの審査結果を待つために採択が決定したファンドを辞退するか選択
- 同一の研究代表者による同一のファンドへ複数課題の申請不可
- (例) 申請時に研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム (START) プロジェクト推進型 起業実証支援で研究開発を実施している研究代表者 (最終年度のプロジェクトを除く) は、本公募プログラムに申請することはできません。

重複実施制限の一覧表

| 大学発新産業創出基金事業 | | - |
|-----------------------|-----------------------------------|---|
| | スタートアップ・エコシステム共創内の研究開発課題（本プログラム）① | × |
| | ディープテック・スタートアップ国際展開② | × |
| | 起業実証支援③ | × |
| | 可能性検証 | |
| | 【起業挑戦】④ | × |
| | 【企業等連携】⑩ | △ |
| 研究成果展開事業大学発新産業創出プログラム | | × |
| | 起業実証支援⑤ | × |
| | ビジネスモデル検証支援⑥ | × |
| | SBIRフェーズ1支援 | |
| | 起業による技術シーズの事業化を目指す場合⑦ | × |
| | 技術移転による技術シーズの事業化を目指す場合⑪ | △ |
| | スタートアップ・エコシステム形成支援内の研究開発課題⑧ | × |
| | 大学推進型内の研究開発課題⑨ | × |
| | 東京大学が実施するGAPファンドの研究開発課題⑩ | × |

△：技術シーズが異なれば実施可

※それぞれ技術シーズが異なることが条件となります。同一の技術シーズについて起業と技術移転で2件同時に実施することできません。

×：同時に実施不可

※どちらのファンドにも採択されていない場合、両方に申請することが可能です。ただし、一方のファンドの採択が決定した段階で、当該ファンドを実施するか、他ファンドの審査結果を待つために当該ファンドを辞退するか選択していただきます。

※どちらかのプログラムの研究代表者を務めている場合（最終年度である場合を除く）は応募出来ません。

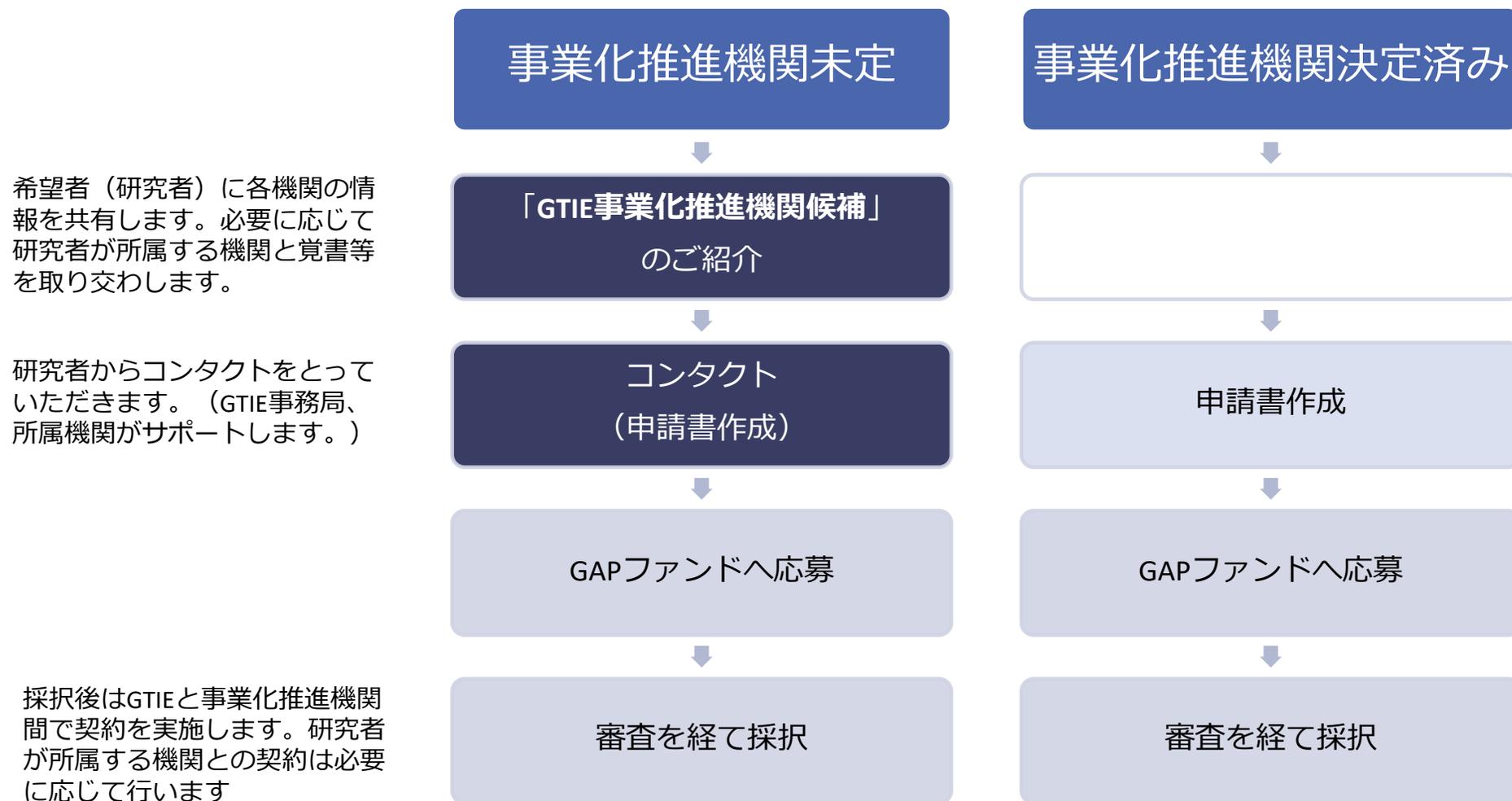
▲：早稲田大学・筑波大学に所属し、大学推進型の研究開発課題（⑨）、東京大学が実施するGAPファンドに今年度採択されている（あるいは現在申請中である）研究者の方はエントリーコースにはご応募いただけません。本募集のSETP1に概要するGAPファンドの募集には応募できません。エクスプロール2年、エクスプロール3年は申請可能です。、ご確認の上、申請を行ってください。該当する場合は申請書の「14. 他制度での助成等の有無（民間財団・海外機関を含む）」に記載してください。

-：同時に申請不可（同一事業への複数申請は不可）

(ご参考) 事業化推進機関の主な役割

- 事業化推進機関は、GTIE GAPファンドを通じ、研究代表者や起業支援人材に助言を行います。
- また、「エクスプロール3年」「エクスプロール2年」「海外市場開拓実践」の研究開発課題に共同代表者として参画する際は研究成果の事業開発に対する責任を有します。
- シーズに関する深い理解の上で、市場の環境分析等を通じて創出を目指す大学等発SUの適切な事業化計画とそれに必要な研究開発計画（達成目標および事業化マイルストーン及び研究開発マイルストンの設定含む）を策定し、研究開発課題をリードすると共に、民間からの投資の獲得（自身による投資判断の俎上に載せることを含む）に向けた事業育成を行います。
- また、起業に向けた体制構築のため、PFが行う経営者候補人材のマッチングに協力するとともに、必要に応じ、自ら経営者候補人材の選定・推薦の実施や、研究開発課題への参加を通じた経営者候補人材の育成を期待します。
- GTIEが推薦する「事業化推進機関候補」一覧はこちら
 - <https://gtie.jp/gap-fund/explore-fund/2024-1/>

(ご参考) STEP2事業化推進機関とのマッチングと採択プロセス



GTIEへの報告等について

- 研究開発の進捗、事業化開発の進捗（事業化支援機関と連携）についてSNS等を使用した進捗管理を行います。SNSの使用は進捗管理報告とみなされます。
- 他の研究チームとの交流およびコミュニケーション
 - 本プログラム内で行うイベント等の機会を活用し、他の研究チーム以外のチームとも積極的にコミュニケーションを図ることを期待します。
- GTIEおよび大学との協力
 - 自身が所属する大学、GTIE、GTIEの関連機関と積極的に連携を取り、事業化に必要な準備を進めていただきます。
- GTIE GAPファンド関連イベントへの参加
 - GTIEキャンプ(仮)
 - Demo Day
 - その他

問い合わせ先

【総合窓口】

- 東京科学大学イノベーションデザイン機構 GTIE事務局：gtie.tt.admin@sangaku.titech.ac.jp

【各所属機関の窓口】

- 応募要領書類の p 3 2 以降をご参照ください



ご参加ありがとうございました